



上總の夷隅郡金谷村御嶽明社  
 冥嶽ららくみて叅詣群集せり此  
 別當へ子を授けらる呪法ありて  
 祈念を頼む事風説高く  
 爰に三房ぬ布良村の演師  
 夫婦長く子なれを愁て  
 まの伊勢叅宮留主中小女房  
 御嶽小行子を頼む別當  
 容態を見て廿日計り籠りて  
 祈念をこれ共嶽へんといふに任せ  
 奉籠の日數満て帰る小女も帰宿し  
 互小此事を歎ふ支の思様月水の笛を  
 月日の合ざる疑生下故女房を糺閑るに初何も  
 岩帯のつゆり掛不縛り松葉を薫り痛責りに苦  
 痛絶るに実へ別當がよに我へ明神の名代ありと

新聞圖會  
 第六号



○真々也  
 冥嶽の呪を受より懐妊  
 事頭を是迄  
 都合十四人此呪を  
 受ると世説高く  
 既小官の取糺  
 小女もを

小嶽の代  
 冥嶽

八尾善板  
 形平三

花源  
 記